

## 京都市の国際化に関する市民意識調査について（案）

### 1 概要

京都市の国際化に関する市民意識調査を実施し、今後の国際化推進施策に活かしていく。市民の皆様の見解等を市政運営に役立てるために京都市が年2回実施している「市政総合アンケート」を活用して、意識調査を行う。

調査結果は、京都市基本計画「はばたけ未来へ！京プラン」に掲げる推進施策「外国籍市民等がくらしやすく、活躍できる多文化が息づくまちづくりの推進」「市民主体の国際交流・国際協力の推進」「世界中のひとびとを引き寄せる京都の魅力の向上と発信」の実施に活かしていくとともに、今後予定されている「京都市国際化推進プラン」見直しの参考とする。

#### （参考）市政総合アンケートについて

京都市に在住する20歳以上の市民3,000人を対象にアンケートを実施する。対象者には日本国籍市民、外国籍市民双方を含み、住民基本台帳登録者数における両者の割合によって3,000名を案分し、内訳を決定する。過去に実施したアンケートの回収率は35%～50%程度。

アンケートは、日本籍市民に対しては日本語、外国籍市民に対しては4言語（日本語、英語、中国語、ハングル）により実施する。

### 2 実施スケジュール（予定）

京都市多文化施策懇話会会議で出された意見を参考としながら、本市の今後の国際化推進施策における重要性等を考慮して質問を作成する。

平成24年10月：質問原案の作成

11月：庁内調整後、質問内容を確定

12月：アンケート実施

平成25年 1月：アンケート回収・締切

2月：報告書作成

アンケートの実施状況及び集計結果等については、今後の懇話会会議において事務局から報告する。

### 3 質問項目（予定）

多文化共生に関する質問と国際交流・国際協力に関する質問の双方を行う。全部で10～12問程度とする。

#### （1）京都市の国際化に関する総合的な質問（2～3問程度）

冒頭で、京都市の国際化に関する総合的な質問を行う。

(2)多文化共生に関する質問（4～5問程度）

多言語による情報提供・相談事業や、文化・言語の相違に配慮した福祉・保健・医療、防災対策等の生活支援、あらゆる市民がさまざまな国の文化に対する関心と理解を深めるための学習機会や地域で交流する機会の充実等、「外国籍市民等がくらしやすく、活躍できる多文化が息づくまちづくりの推進」に関する質問を行う。

(3)国際交流・国際協力に関する質問（4～5問程度）

海外からの観光客や留学生・研究者を積極的に受け入れるための「世界中のひとびとを引き寄せる京都の魅力の向上と発信」及び、姉妹都市交流、パートナーシティ交流、京都市国際交流会館を核とした情報の受発信の充実や各種団体とのネットワークの強化等、「市民主体の国際交流・協力の推進」に関する質問を行う。

<参考>過去に京都市が実施した意識調査

1 日本国籍市民を対象とした、外国籍市民や多文化共生についての意識調査

市政モニター『国際化ー共に生きる社会をめざして』

ア 対象者：市政モニター200名（住民基本台帳から無作為抽出）

イ 実施期間：平成8年7月

ウ 調査内容：国際化、在住外国人にとって望ましい施策などを質問し、「内なる国際化」についての日本人市民の意識や認識を分析

2 外国籍市民を対象とした意識調査

京都市外国籍市民意識・実態調査（平成19年度調査）

ア 対象者：京都市に在住する20歳以上の外国籍市民(3,700名、有効回収率26.5%)

イ 実施期間：平成19年6月29日～7月20日

ウ 調査方法：郵送調査法

エ 調査内容：アンケート方式により、①属性、②使っている言葉、③地域・近所とのかかわり、④育児・教育、⑤医療・年金、⑥行政・団体サービス、⑦日本社会の差別と偏見、⑧住まい、⑨緊急時の対応、⑩外国籍市民施策のあり方について質問し、自由回答と併せて分析